

優秀賞

中学生部門〈思考力のある作品〉

名古屋市立宝神中学校 3年

加藤 渚々海

調べてみて

私は「生きぬく力」について、今まで考えたことがありませんでした。いくら考えてもよくわからなかったので、お母さんのスマホを借りて、調べてみることにしました。

「生きぬく力」についてわかったことは二つありました。一つ目、生きぬく力とは、全人的な資質や能力のことを指す用語であり、具体的には、「変化の激しいこれからの社会を」生きぬく力であるということ。私はこれを見て、自分がちゃんと変化の激しい世の中で、まわりの人たちについて行けるかどうか、少し不安になりました。

二つ目、「生きぬく力」とは、知・徳・体のバランスのとれた力のこと。変化の激しいこれからの社会を生きぬくために、確かな学力、豊かな心。健やかな体の知・徳・体をバランスよく育てることが大切になる。今でできた三つのことを一つずつ見ていきます。

まず初めに、確かな学力とはどんなものか、確かな学力とは、基本的な知識・技能を習得し、それらを活用して自ら考え判断し、表現することにより、様々な問題に積極的に対応し、解決する力のことです。次に豊かな心、豊かな心とは、つまり、豊人間性ということ。自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性を意味します。最後に健やかな体についてです。たくましく生きぬくための健康や体力のことを意味します。このことから、私が見つかったこと、思ったことは、「変化の激しいこれからの社会を生きぬく力」と「日常の生活の中で起きることを大切にすること」ということです。人が人として生きぬくために特別なことをしなければいけないわけではなくて、日ごろからおこなう勉強や友人関係、健康面などをしっかりおこなう事が、生きぬく力にとって大事なことだということがわかりました。私は初めの方に、「私が変化の激しい世の中についていけるか不安」と書きましたが、今は少し、ついていけそうな気がします。